

葛飾区

緑化推進協力員だより

第44号



2021年3月 葛飾区緑化推進協力員会

協力 葛飾区環境部環境課緑と花のまち推進係

表 紙

各ブロックの花壇活動にお邪魔した時に撮影しました。

目 次

	題 名	ブロック	氏 名	ページ
1	活動記録	第1ブロック		1
2		第2ブロック		3
3		第3ブロック		4
4		第4ブロック		5
5	活動報告	第1ブロック	大 越 恒 男	6
6	令和2年度前期ブロック会議を開催しました	第1ブロック	佐々木 定 治	7
7	令和2年の夏花壇	第1ブロック	引 地 詔 子	9
8	活動報告	第1ブロック	前 田 邦 男	10
10	<small>フェニックス</small> ムベは不死鳥	第2ブロック	五十嵐 美 鈴	11
11	沈丁花の思い出から	第2ブロック	磯 貝 五十鈴	13
12	耳に残る C.W.ニコルさんの言葉	第2ブロック	近 藤 文 子	15
13	曳舟川親水公園の花壇	第2ブロック	星 合 久 子	19
14	教えてください！！	第2ブロック	松 坂 憲 一	20
15	編集後記		編 集 委 員	21



第1ブロック活動記録（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
6月 7日	柴又街道花壇	花壇の整備	花壇清掃
15日	金町駅前北口	花壇植替	日日草、トレニア、アンゲロニア
20日	新柴又駅前花壇	花壇植替	ひまわり、日日草
28日	区立中学校	観察会講師	科学部の自然観察会に佐々木協力員参加
7月 5日	柴又街道花壇	花壇の整備	花壇清掃
9日	金町地区センター	ブロック会議	令和2年度活動計画等 メンバーの自己紹介
8月 8日	新宿プレイパーク	花壇植替	日日草24株、ペンタス24株、センニチソウ24株、ケイトウ24株
8日	寅さん公園花壇	花壇の整備	花壇清掃
9月 11日	葛美中学校	農園ボランティアサポート	清水一郎副ブロック長参加
13日	柴又街道花壇	花壇の整備	花壇清掃
26日	寅さん公園花壇	花壇の整備	花壇清掃
10月 14日	男女平等推進センター	葛飾花と緑のはがきコンクール審査会	藤井会長、大越副ブロック長、清水一郎副ブロック長 審査員として参加
25日	柴又街道花壇	花壇の整備	花壇清掃
27日	区役所見本園	花壇の整備	夏花壇処分 ガーデンプロジェクト12メンバー参加
11月 2日	区役所見本園	花壇植替	冬花壇植替え ガーデンプロジェクト12メンバー参加
6日	清水農園	園芸教室	パンジーのハンギングバスケット 講師：清水一郎副ブロック長 受講者20名
9日	金町駅前北口	花壇植替	キンセンカ、ヒオラ、イベリス
14日	水元スポーツセンター公園	花壇植替	春花壇の植替え
18日	男女平等推進センター	葛飾花と緑のはがきコンクール表彰式	藤井会長 立会人として参加
22日		講座	オール水元ハンギング講座 清水一郎副ブロック長審査員として参加
25日	水元小合学園	花壇植替	プランター花壇植替え 清水一郎副ブロック長参加
26日	区内小学校	出前講座	佐々木協力員参加
29日	柴又公園	柴又チューリップいっぱい	柴又河川敷でチューリップ植付け
30日	柴又街道花壇	花壇の整備	花壇清掃
12月 13日	柴又街道花壇	花壇の整備	花壇清掃

18日	新宿プレイパーク	花壇の整備	花壇植付け チューリップ 60 株
3日	水元公園しょうぶまつり	ゴーヤーの苗配布	苗 1,000 株配布、協力員と葛実中生徒及び清水農園
2月 13日	区内小学校	出前講座	佐々木協力員参加
2月 14日	柴又街道花壇	花壇の整備	花壇清掃
20日	柴又公園花壇	花壇植付け	芝桜の植込み
3月 8日	金町駅前北口	花壇植付け	花の捕植 プリムラポリアンサ
20日	私立保育園	花壇整備	花壇整備 佐々木協力員参加
21日	柴又街道花壇	花壇の整備	花壇清掃
28日	柴又公園	柴又チューリップいっぱい	柴又河川敷で植付けしたチューリップを鑑賞
28日	区役所見本園	サロン・ド・花いち	清水一郎協力員参加

毎年5月、11月 前田協力員が学校地域応援団として原田小学校花壇の植替えと管理

第2ブロック活動記録（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
4月 5日	白鳥四丁目公園花壇	第1回植付	4名参加
11日	白鳥四丁目公園花壇	第2回植付	4名参加
27日	白鳥四丁目公園花壇	第3回植付	4名参加
5月 1日	白鳥四丁目公園花壇	第1回草花（冬花） 片付け	2名参加
11日	白鳥四丁目公園花壇	第2回草花（冬花） 片付け	2名参加
6月 8日	白鳥四丁目公園花壇	草花植付	クリスマスローズ、ペチュニア、ヒマワリ 植付 3名参加
19日	白鳥四丁目公園花壇	草花植付	クリスマスローズ、ペチュニア、ヒマワリ 植付 3名参加
7月 4日	白鳥四丁目公園花壇	草花植付	アガパンサス、ほう木草、植付 除草他 2名参加
8日	白鳥四丁目公園花壇	草花植付	アガパンサス、ほう木草、植付 除草他 2名参加
8日	亀有地区センター	ブロック会議	2年度活動計画等 メンバーの自己紹介
12日	白鳥四丁目公園花壇	草花植付	アガパンサス、ほう木草、植付 除草他 2名参加
16日	白鳥四丁目公園花壇	草花植付	アガパンサス、ほう木草、植付 除草他 2名参加
8月 13日	白鳥四丁目公園花壇	水やり、除草	2名参加
17日	白鳥四丁目公園花壇	水やり、除草	2名参加
10月 12日	白鳥四丁目公園花壇	草花植付	ノースポール植付
14日	男女平等推進センタ ー	葛飾花と緑のはが きコンクール審査 会	近藤ブロック長、松野副ブロック長、松坂 副ブロック長 審査員として参加
11月 7日	白鳥四丁目公園花壇	草花植付	ノースポール、バンジー植付
9日	白鳥四丁目公園花壇	草花植付	
15日	白鳥四丁目公園花壇	草花植付	
24日	男女平等推進センタ ー	園芸教室	苔玉づくり 講師 清水雅子協力員 受講者 20名
29日	柴又公園	柴又チューリップ いっぱい	柴又河川敷でチューリップ植付け
12月 8日	白鳥四丁目公園花壇	草花植付	チューリップ球根植付
15日	白鳥四丁目公園花壇	草花植付	緑の募金球根植付
3月 28日	柴又公園	柴又チューリップ いっぱい	柴又河川敷で植付けしたチューリップを 鑑賞

白鳥四丁目公園花壇

・毎月曜日 9時～11時 除草、清掃、花摘み作業、水やり 半田協力員他

第3ブロック活動記録（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
4月 4日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者 4 名
5月 2日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者不明
6月 6日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者 2 名
7月 4日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者不明
7月 13日	エコライフプラザ	臨時ブロック会議	第 23 期緑化推進協力員について
16日	渋江公園		
22日	東四ツ木地区センタ ー	ブロック会議	令和 2 年度活動計画 自己紹介など
8月 18日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者不明
9月 12日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者不明
10月 14日	男女平等推進センタ ー	葛飾花と緑のはが きコンクール審査 会	下井ブロック長、江良副ブロック長、高口 副ブロック長 審査員として参加
18日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者 7 名
25日	渋江公園	花壇管理	植付けのための耕作 参加者 7 名
31日	渋江公園	花壇管理	花苗 14 トレーの植付け 参加者 7 名
11月 14日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者 7 名
18日	男女平等推進センタ ー	葛飾花と緑のはが きコンクール表彰 式	下井ブロック長 立会人として参加
28日	渋江公園	花壇管理	チューリップ植付け 参加者 10 名
29日	柴又公園	柴又チューリップ いっぱい	柴又河川敷でチューリップ植付け
12月 12日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者 5 名
1月 9日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者 4 名
2月 13日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者 4 名
3月 13日	渋江公園	花壇管理	大雨のため中止
28日	柴又公園	柴又チューリップ いっぱい	柴又河川敷で植付けしたチューリップを 鑑賞

新型コロナ感染拡大のため、新ブロック長他の選出が7月になったため、活動の開始が大幅に遅れた。7月までの活動の詳しい記録が無いため、参加者数の把握が一部できなかった。渋江公園での活動は従来の第1土曜日から第2土曜日に移行した。月1回の管理では散水が不十分であり、週1~2回散水を随時行った。夏のサンビリーバブルはきれいに咲いたが、枝が大きくなり、暴れた。プリムラ、ヤブランの生育はよくなかった。

ガーデンプロジェクト 12 には第3ブロックからは2名参加。

第4ブロック活動記録（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
4月 14日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
5月 12日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
6月 5日	細田グリーンバンク	花苗植込み	10時 新規苗到着
12日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
7月 7日	細田グリーンバンク 高砂地区センター	月例作業 ブロック会議	花壇手入れ 令和2年度前期ブロック活動計画 自己紹介など
8月 12日	細田グリーンバンク	花壇手入	花壇手入れ 今月より作業日を第2水曜日に変更
9月 9日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
10月 14日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
14日			大塚ブロック長、小池副ブロック長、直井副ブロック長 審査員として参加
30日	区役所見本園	園芸教室	エアープランツで楽しもう 講師：直井副ブロック長 受講者 20名
11月 11日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
18日	男女平等推進センター	葛飾花と緑のはがきコンクール表彰式	大塚ブロック長 立会人として参加
29日	柴又公園	柴又チューリップいっぱい	柴又河川敷でチューリップ植付け
12月 9日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇植替え チューリップ 100株
1月 13日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
2月 10日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
3月 10日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
28日	柴又公園	柴又チューリップいっぱい	柴又河川敷で植付けしたチューリップを鑑賞
通年・第2水曜日	細田グリーンバンク	花壇手入れ	植付け等、花壇全般管理

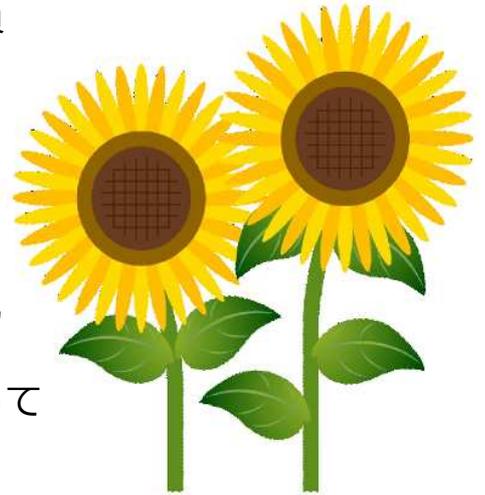
.....*.*.*.*.*.....

活 動 報 告

第一ブロック 大越恒男

第一ブロックでは、柴又地区内では3名の協力員が選出され活躍しております。

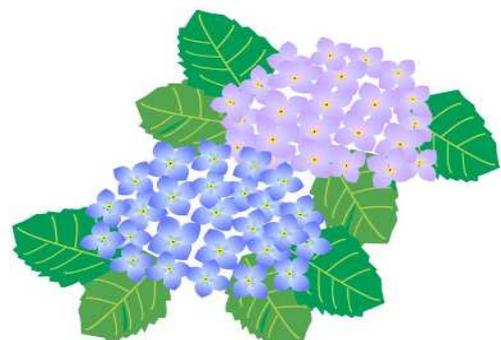
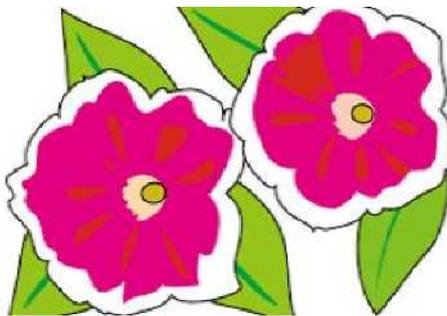
柴又植栽事業推進協議会の中の参加者としてしましては、老人会（長寿会、福寿会）とPTA、地域の団体、そして、第一ブロックの3名が一体となって活動しております。



事業内容としてしましては、柴又街道花壇、新柴又駅前の花壇、寅さん記念館上の柴又公園内の花壇、芝桜の手入れ、柴又フロリズ通りの花壇の手入れ等です。

寅さん記念館上の柴又公園内の芝桜が雑草で見えなくなったため、8月8日暑い中、朝七時に老人会と協力員が参加して、きれいに致しました。

緑化推進協力員として、地域の皆様と力を合わせ、葛飾が花いっぱいの町になるように協力して行きたいと思っております。



.....*.*.*.*.....

葛飾区緑化推進協力員だより 44号に寄せる

第1ブロック 佐々木 定治

令和2年度前期ブロック会議を開催しました。



令和2年度前期の「緑化推進協力員第1ブロック会」は7月9日（木）午前11時から開催しました。ブロック会開催の案内には、次のような事項も記載されておりました。

～開催にあたりましては3蜜を防止するなど万全を期してまいりますので、出席の際には必ずマスクの着用をお願いいたします。

また、当日は発熱や軽度の症状であっても、咳や扁桃痛などの症状がある方は、健康・安全面を第一に考慮していただき、ご欠席をしていただきますようよろしくお願いいたします。～・・・新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対策の留意事項の記載がありました。

★ ★ ★ 当日の内容を記載すると ★ ★ ★

- ① 開催日時：令和2年7月9日（木）午前11時から
- ② 開催場所：金町地区センター 会議室 東金町1-22-1
- ③ 議題：令和2年度前期のブロック活動について

※コロナ禍で中止になった事業→緑のカーテン作り方講習会と講師向け事前勉強会・かつしか環境緑化フェア・樹木フェア・施設見学会 ※総会は役員のみで開催する旨ブロック会で、総会承認の権限を役員に委任する件も了承されました。

◎コロナ禍は緑化推進にも大きく影響して活動の範囲が狭くなっていますが、3蜜を避け個人で出来ることも多くあるのですから、これも新スタイルとして緑化推進に協力してまいります。

私の緑化

その1 緑を食べる



私は、数年前から「オカワカメ」を家庭菜園で栽培しています。この植物はつる性でグリーンカーテンにもなります。別名「アカザカズラ」「長生百薬」ともいわれていますが、俗名の「ヌルッパ」が一般に知られた名称です。

ミネラルを豊富に含む栄養価の高い注目食材です。最近NHK2チャンネルの「趣味の園芸」でも放映され、一躍人気の食材です。茎葉やムカゴを収穫し、炒め物や汁物の具に利用できます。噛むとモロヘイヤのようなトロミが出て美味。葉の形は、ハート形葉で観賞用にもできます。

私は、サッとゆでてヒヤヤッコの上にオカカ添えで乗せて、めんつゆでいただきました。ワカメのようなヌルっとした食感が実に美味しいです。緑と食を暮らしの中に取り入れることも、緑化推進協力員の重要な役割だと考えます。

その2 緑を育て管理して暮らしに彩を



縁あって私は、2012年からおある施設の庭のお世話をさせていただいております。そこは里山風で、自分が生まれて育った田舎のような、雰囲気と趣のある場所です。季節ごとの花・昆虫・鳥たちが見事に自分の生きてきた折々の出来事を思い起こさせてくれるエリアです。クヌギのどんぐりコマ、クリの実のご飯、干し柿つるしの軒下の風景。みんなみんなその昔が今ここに息づいています。

緑と人の暮らしは人が生きていくための「地球自然」の恵みです。私は緑を育て、管理をし、「たったひとつの地球」を大切にしながら、このことを未来永劫に引き継ぐことが、自分の役目だと考えます。

.....*.*.*.*.....

令和 2 年の夏花壇

1 ブロック 引地 詔子

金町南口バスターミナルの所に花壇 2 カ所で花の手入れに参加しています。人通りも多く 3 名で楽しみながら手入れしています。6 月 16 日に夏の花に植えかえ、ローズマリー、トレニア、アメリカンブルー、メランポジュウム、アングロニア、ニチニチソウとレイアウトしながら植えてつけて元気に育てていたのですが、6 月下旬から 7 月の長雨が続き日照不足でニチニチソウだけ病気が発生して、全部に広がり枯れ出してしまいました。同じく水元公園にもボランティアに参加しているので、ニチニチソウ 150 株植えたものも同じように病気にかかり、枯れ始め、全部に広がり悪い所を取りのぞき、西岡さんと水元の会長に相談して、「リドミル殺菌剤」で、7 月 10 日に消毒しました。

7 月 12 日に 2 回目の消毒をし、様子を見ていましたが、その後晴れの日が続き、元気に育ち花も咲きそろいひと安心しました。ニチニチソウは太陽が大好きな花のようです。今年の夏はコロナ、長雨、猛暑と大変な夏でした。



..... * * * * *

活 動 報 告

1ブロック 前田 邦男

現在も、原田小学校地域応援団花植班のリーダーとして、活動をしている。

5年前に学校より、花壇の話があり、学校の北側の道路脇の草地と庭に、約14平米の花壇を作り、毎年、区環境課緑と花のまち推進係より、花の苗をいただき、5月と11月の年2回植替えを行っている。植替えの時は、学校長、副校長、班員、地域の人、PTAの親子、約30人程で、楽しく植替えをしている。

植替後の管理は、班員が交代で、4月から11月まで週3回（月、水、金の朝9時から）12月から3月までは週2回（月、金）に水をまき、枯れ葉、草取りなどをして管理をしている。また、学校の子供が、毎年街路樹の下に花を植える時に植え方を教えている。

今年のはじめに、通行をしている人からこういう話を聞きました。「私の主人は草花にぜんぜん興味が無かったのに、ここに花壇が出来てから興味が出てきたのか、家庭でも花の話をしたり、また、植木鉢などに花を植えるようになった」と話してくれました。

こういう方たちが増えれば、良い街づくりが出来てくると思う。



..... * * * * *

2ブロック 五十嵐美鈴

私の高校の修学旅行は、当時人気だった九州一周。名所・旧跡を回り楽しかった旅行も後半の時、バスの中で出発待っていると、おばさんが方言で声をかけてきた。「お嬢ちゃんムベを土産に買っていきなあ。これは葉が七五三でめでたいし、実は甘くて体にも良いんだよ。」私は初めて見るムベに心惹かれ買った。

両親や姉と食べたムベの甘い味を思い出すと、私は HAPPY になる。父が蒔いたムベが亡くなってから実を付け、父に感謝した。

平成 31 年、花が大好きだった母が亡くなってから雑然としていたお庭が、界隈緑化できれいになり、ムベも切るようになった。

令和 2 年、新型コロナウイルス感染拡大により、4月に緊急事態宣言が発令され私達の日常生活は一変し、夏のオリンピック・パラリンピックも延期になった。何もやる気力を無くしていた時、切ったはずのムベが葉を出し、あっという間に 2 m もある山茶花に巻き付き、表玄関のドアまで伸びていった。ムベは不死鳥だと思った。私はムベから元気を貰い、何があっても逞しく生きることを教えられた。



ムベはアケビに似ている。詳しく知りたいと思い調べてみた。

ムベ「郁子」別トキワアケビ 学Stauntonia hexaphylla

アケビ科ムベ属のつる性緑木本、関東地方以西の本州、四国、九州、南西諸島に分布し韓国南部、中国、台湾にも見られる。林縁部や二次材などに生育する。別名はアケビに似ているが常緑であることによる。漢名は野木瓜。茎は長く伸び、太さ



が径約6 cmにもなる。葉は互生し有柄で5～7枚の小葉をもつ掌状複葉。小葉は楕円形または卵形、長さ5～10 cm、幅2～4 cm。革質で、全体に無毛、裏面は淡緑色で網状脈がはっきりしている雄雌同株で、5月ごろ新葉の葉腋から出る散房花序に長さ1.5～2 cmの花が3～7個つく。花は黄色がかった白色でしばしば紅紫色の筋があり、ほぼ同形同色の花被片が6個ある。雄花のおしべは6個あって合着する。雌花のめしべは3個。果実は卵円形でアケビよりまるく長さ約5 cm 10月～11月、熟すと赤色から紫色に変わるがアケビと異なり裂開することはない。果肉は白色で甘く食べられる。種子は黒色で果肉の中に多数ある。アケビとともに秋の野生の果物として知られ古くは朝廷にも献上された。和名も大賛（朝廷への貢物としての産物）の音が何段階かに変化したものといわれる。生垣や盆栽にされ茎や根は民間で利尿薬として用いられる。

※参考文献 小学館 日本野生植物館 編著 奥田重俊 1997年7月出版

コロナが終息し、皆さんと笑顔でお会い出来る日が、一日も早く来ることを願っています。

沈丁花の思い出から

2ブロック 磯貝 五十鈴

2020年12月22日、自宅北玄関脇の沈丁花の蕾が、ふっくらピンクになりました。この沈丁花は、3年前のテクノプラザでの緑化フェアで、いただいたもので、すっかり我が家のゴーヤ用プランターに植付きました。

沈丁花には思い出があって、50年前の小学校への、まだ寒い春の通学路の香りでもありました。当時は集団登校で、春の沈丁花の香りに始まり、夏のクちなシ、秋のキンモクセイ、年末の



お正月準備で賑やかな商店街から、木箱に入ったミカンの香りと、季節ごとに豊かな香りがありました。沈丁花の花の香りから、様々な香りとともなった思い出が、蘇ります。

年末のこの時期、商店街の果物屋の店先はミカンでいっぱい。その頃、学校で習った短歌に「街をゆき 子供の傍を 通る時 蜜柑の香せり 冬がまた来る」という木下利玄 30才、大正4年に詠んだ作品がありました。短歌など好きではなかったのに、「ミカンノカセリ、フユガマタクル」という、文語と口語のミックスが大胆でモダンな感じがして、いっぺんで好きになってしまいました。こんなふう小さい頃の葛飾の町の思い出は、香りに満ちていたように思い出します。皆さんは、いかがでしょうか？

半世紀も経つと、気温、空気、水と、植物を
取りまく環境も、随分、違うように思います。

50年前、野原や畑が多く小川や池もいっぱい。

カエルの卵、おたまじゃくし、夕方の空には、

蝙蝠まで飛んでいました。春の蝶々、夏から

のバッタ、秋の昆虫の声というように五感をいっぱい刺激されていたように
思います。



2021年、今年も区内の緑や香りが、豊かに、芳しく、ふえて
いきますように、今年も、コロナに負けず活動に励んでゆき
たいと思います。よろしくお願ひいたします。

.....*.*.*.*.....

耳に残る C.W.ニコルさんの言葉

第二ブロック 近藤文子

例年とは全く違った年末年始。見えないウィルスに向かった戦略は、ステイホーム、うがい、手洗い等、守るべき最低限度の、しかし、重要な規則がある。

私も令和2年8月31日、予想外の心臓病に見舞われ、冠動脈4本のバイパス手術を受けた。約半年の静養が大事とのこと、年末の大掃除は娘に任せ、料理のみに奮闘した。そんな中、つけっぱなしのテレビからC.W.ニコルさんが司会者の方と話をしているのが聞こえてきた。

「北は流氷、南はサンゴ礁。古来種の樹木がイギリスでは30種。日本では1500種に及ぶ。こんなに自然に恵まれた土地は外国にはない。しかし、その事の幸せと、守るべき重大さに日本人は気付いていない。また、正しい意見を堂々と述べ、ディスカッションできる人が口を噤んでいる。なぜ・・・」。

それがやがて日本人の癌となり、膨らみ、ほころび続けるのが残念と私は受け止めた。

C.W.ニコルさんの対談での言葉が正月を過ぎても頭から離れず、私もその一人である事の恥ずかしさをニコルさんに見透かされているような気がした。

窓の外の餌台には、いつもと変わらない30%割引の食パンを、細かく砕いて置くと、すずめが啄みにくる。年始めからは、メジロの番もやってきては、モーニング、ランチ、早いディナーを済ませ、どこかの塹へと帰ってゆく。例年通りの季節が一周して巡りくる事だけであるが、コロナ禍での活動は大きく制限された。

個々での緑化活動、いつもと変わらない活動に違いがないが、失敗を話し合ったり、花壇の状況報告があったりと、委員同士の生きた会話等ができなくなった。コロナによって「便利さ」の中の「不便さ」を切実に感じる。

しかし、草花は強く賢い。人々や町の出来事とは関係なく、今日から明日へと花を膨らませ春を待っている。いつもの場所で、天の恵みとボランティア活動により支えられ、多くの笑顔を運んでくれている。しかし、昨秋よりの雨量も極めて少なく、しっかりと施水することが重要である。寒いから、凍るからと、さっと表面だけの施水に終わり、何故か萎えているのを気候のせいにするのは春への命のときめきを潰す事となる。やはり、「水やり三年」と言われる通り、難しい作業である。人が介在しての命の膨らみである。

同じ講師に、同じ講義を受け、同じ実地を受けても、いざ一人で始めると、迷いに落ち込むこともある。それが「知る事」「聞くこと」「体験する事」の第一歩で、自然の命を預かる上でのポイントでもある。しかし、「知ったかぶり」は大きな過ちを犯す。何年か前に、松を知り尽くした庭師さんから伺ったある出来事を初めてお話してみたい。

とある庭師さんが、十年の修行を終え、自信たっぷりですり立ちした。親方は、「まだ一番肝心なことは教えていないが、頑張って自分の世界を作ってほしい」と送り出した。あと少しの修行ができなかったが、それが若さというものであろう。親友の口癖であった「去る者は追わず」かもしれない。

独立してからお得意様も増え、ある日、旧家の古松の手入れを依頼された。

人当たりの良い職人であったので、お客様の期待も大きかったであろう。

ある日、手入れの終わったその松の下を、偶然通りかかった親方が見上げて、「この手入れでは、間もなく枯れるね」と一言弟子の前でつぶやいた。

清らかに、自信たっぷりに鋏を入れた古松ではあったが、一週間、二週間の間に芽の力を失い、やがて茶色い松葉を付けたまま枯死した。何百年の命の終息である。素人が見れば、さっぱり、すっきりとした手入れに見えたらしいが。

お客様にどう説明したか知る由もないが、この例がその職人の以後をどう変えていったのであろうか？

また、親方の目に、手入れ後の古松が何を訴えていたのか、そこが言葉で表せない経験の技なのかもしれない。

昨年、8月末。「自宅に帰れば、2、3日で七転八倒して死ぬかもしれない。このまま入院です」と検査日に宣告された。青天の霹靂でまだ信じられない状況の中、手術を受けた。

労作性狭心症という病名であった。

麻酔から覚めた苦しさは尋常ではなかったが、今は執刀してくださった医師に、看護師さんたちに感謝し、また何気なく聞いた C.W.ニコルさんの言葉に、重責を感じ、この令和三年を、術後の元気な心音を聞きながら出発できた事に感謝している。

宇宙があり、地球があり、空があり、山があり、谷があり、川から大河へと、そして大海に至る。この不変の法則が、どこまで続くかは神様のみぞ知る。しかし、戦後貪り続け

てきた地球の自然を、C、W、ニコルさんが残した言葉をもう一度思い出しながら、世界
一の環境に恵まれた「日本」を輝かせたい。コロナ対策と共に、今、最も大切な自然への
ご褒美と治療方法をあなたも私も知っているはず。

※C.W.ニコル氏 1940 7.17~2020 4.3 イングランド ウェールズ出身

著書 「わたしの自然日記」 「黒姫日記」 等多数

靴音や 肩をすぼめる 冬すみれ

梅一輪 スキップする子 おさげ髪

柴又へ リハビリ散歩 踏の臺

文子

曳舟川親水公園の花壇

2ブロック 星合久子

私たちの花の会は、お花茶屋駅北口からほど近い曳舟川親水公園の中にある花壇を管理しています。春と秋の年2回の植え替えの時は都立農産高校の先生二人と生徒さん20数名が参加して下さり、とても賑やかに楽しくやっています。2020年はコロナ禍の中であって参加してもらえませんでした。

コロナが治まって、また楽しく出来る日を待っています。

でも、その後の維持、管理には苦心しています。会長さん初め皆さん、高齢化により、草取りや水やりに出て来てくれる人が年々少なくなっています。

そして、少しでも作業が楽になる様にと、区の公園課をお願いして防草シートを張ってもらい、すごく助かっていますが、それでも夏はけっこう草は出

ます。私は、自分の都合のつく時に行ってお世話をしています。そんな時、通りかかった人に「きれいですね」「いつもありがとう」などと声を掛けてもらすと、うれしくて、それを励みに頑張っています。この花壇を次の世代の

人達が受け継いでくれる事を願いつつ...

教えてください！！

2ブロック

松坂憲一

私事ですが、引越しをして7か月が過ぎました。以前は一戸建て、少しの庭があり、少々の草木と鉢植えの花がありました、



今はマンションの5階で、狭いベランダしかありません。鉢植えでもしようかな、考えている内に7か月も過ぎてしまいました。何か良いヒントがあればご教示ください



編集後記

緑は生活を潤す活力の源です。この活力は人が人として生きていく上で、心も体も健康にしてくれる源だと考えます。多くの情報から、暮らしに役立つ情報を選択し、その分暮らしが豊かになり便利になったとしても、心からの幸せ感を体得できたとは言えない世の中だと思います。自分の時間を持ち、自然散策や緑化作業をしている時についてそんなことを考えてしまいました。特にこの混迷のコロナ禍の時代には、自分の暮らしの中に緑を取り入れ、日々の暮らしの中に活力を涵養していきたいものです。

1ブロック 佐々木 定治

.....*.*.*.*.....

今年は、お庭の真紅の椿が蕾をたくさん付けて今満開です。花たちのエールの声が聞こえてきます。

「明るい未来を信じて今日を大切に、コロナに負けずに頑張りましょうね!!」

コロナ渦の中、原稿を届けてくださり、ありがとうございました。

2ブロック 五十嵐 美鈴

.....*.*.*.*.....

毎日、公園や歩道を散歩しながら、花咲き始め、緑が濃くなっていく自然の変化を見ると、心が暖かくなり、ワクワクしてきます。今、一番いい季節だなあと感じます。これから、皆さんと外へ出て、色々な活動を楽しみたいと思います。

3ブロック 江良 ヒデ子

.....*.*.*.*.....

いつもなら、春めく景色に胸踊らせる季節です。

上を向けば、たくさんの木々が花をつけているというのに、コロナ禍のせいで世間自体がうつむいてしまっているような気がします。しかし、視線を落とした先、道路の脇にもスミレが咲いていたりもして……。

どんな時も、どんな所でも、草木は人を癒してくれますね。

4ブロック 直井 勝